

■長谷川等伯 絵師(画家)。水墨画和様化の極致「松林図屏風」。独自の金碧画で一門率い、狩野派と画壇の覇権争い。

はせがわとうはく
・ ・ ・ ・ ・ 1539＝ 能登国七尾の生れ。

鉄砲伝来・ ・ 1543＝ 4歳：

能登の染色業者長谷川宗清の養子となり、画事を養父に習った。

上杉謙信登場1548＝ 9歳：
ザビエル来日1549＝10歳：

川中島の戦始1553＝14歳：

長谷川家は法華宗で菩提寺は本延寺。その関係で、法華関係の仏画、肖像画などを多く手がけた。

・ ・ ・ ・ ・ 1557＝18歳：

桶狭間の戦・ 1560＝21歳：

能登地方には「日乗上人像」(妙成寺)、「達磨図」(竜門寺)、「十六羅漢図」(霊泉寺)などが現存しており、

川中島の戦終1564＝25歳：「十二天像」,「釈迦・多宝仏図」,
將軍義輝自刃1565＝26歳：「日蓮上人像」などを描く。
・ ・ ・ ・ ・ 1566＝27歳：

織田信長入京1568＝29歳：長男誕生。「涅槃図」。

比叡山焼討・ 1571＝32歳：養父母相次いで死去。***上洛。本延寺の縁で本法寺を宿坊とし、法華関係の画事から手がける。**

三方原の戦・ 1572＝33歳：「日堯上人像」を描く。
室町幕府滅亡1573＝34歳：この年までに「武田信玄像」を描く。

長篠の戦・ ・ 1575＝36歳：

「花鳥図屏風」,「牧馬図屏風」などの花鳥獣図や風俗図も手がけ、その技量を武家社会にも認めさせた。

安土教会許可1579＝40歳：妻が死去。

やがて、大徳寺に出入りし、利休をはじめ堺の茶人たちとも交友をもち、画作の場は禅寺にも広がる。

本能寺の変・ 1582＝43歳：
賤ヶ岳の戦・ 1583＝44歳：***この頃、大徳寺総見院の障壁画を制作し、等伯と改号(円徳院・楽家)。**
長久手の戦・ 1584＝45歳：
豊臣秀吉関白1585＝46歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1589＝50歳：大徳寺三門の天井画、柱絵を描く。同三玄院の「山水図襖」では、独特の余白造成と真行草の使い分けに成功し、水墨画を近世的意匠に高めた。牧谿の図を見てインパクトを受ける。

秀吉全国統一1590＝51歳：御所造営に際し、障壁画制作を狩野永徳一門と争う。

文禄の役・ ・ 1592＝53歳：
方広寺大仏殿1593＝54歳：秀吉が長子鶴松の菩提のため建立した祥雲禅寺の障壁画制作には、一門を率いてあたり、「楓図襖」「松に黄蜀葵図」など桃山美術の記念碑的大作をものにした。この時「桜図襖」で画名を上げた息子久蔵が死去、上京以来のライバル狩野派との抗争にも疲れたらしい。

ルッ島通交・ 1594＝55歳：「春屋宗圓像」を制作。***この頃、最高傑作「松林図屏風」のほか、「老松図襖」,「猿猴竹林図屏風」,「枯木猿猴図」などの水墨画の傑作が生まれた。**

関白秀次事件1595＝56歳：「千利休像」を描く。

慶長の役・ ・ 1597＝58歳：
豊臣秀吉没・ 1598＝59歳：「妙法尼寿像」を描く。

前田利家没・ 1599＝60歳：本法寺再興に尽力して本堂天井画「仏涅槃図」を寄進、**「山水図襖」を制作。**

関ヶ原の戦・ 1600＝61歳：
朱印船制始・ 1601＝62歳：「商山四皓・猪頭蜆子図襖」を制作。**「禅機図襖」など、単純で象徴的な筆線の水墨画に画境を深めた。**

東本願寺創建1602＝63歳：
糸割符法始・ 1604＝65歳：**法橋に叙せられる。**

徳川家康隠居1605＝66歳：**法眼となる。**

江戸城完成・ 1606＝67歳：「龍虎図屏風」「群虎図屏風」を描く。

家康駿府退隠1607＝68歳：「竹林七賢図屏風」「梟鳥図屏風」を描く。

・ ・ ・ ・ ・ 1608＝69歳：「日通上人像」などを描く。

島津琉球支配1609＝70歳：「十六羅漢図屏風」などを描く。

琉球使始・ ・ 1610＝71歳：***徳川家康の招きで江戸に下り、まもなく没したという。**